

オススメ本の紹介



クレスト社

コレがオススメ!

技術とは人の幸せのために使うもの

『はじめてに仮説ありき』

佐々木正 著

「人を幸せにしよう」という気持ちから生まれた仮説は、技術者を引っ張る原動力となり、新しい技術を生み出すことにつながる。この考え方は、本学の教育理念である「倫理観ある技術者育成」の参考となる考え方です。技術の向上も必要ですが、精神的なことを学ぶためにもこの本を薦めます。将来の目標を考えるときに参考にしてもらいたいです。



鶴 衛学長

『博士の愛した数式』のインスピレーションのもとになった人物

コレがオススメ!



新潮社



荒木 智行先生
工学部 電子情報工学科

『若き数学者のアメリカ』

藤原正彦 著

ミシガン大学に研究員として招かれた若き日本人数学者(著者)のアメリカ滞在記です。アメリカでは外国人である著者の思いが、軽快に、かつ、非常に深い分析力をもって描かれています。数学に関する専門知識は必要としない内容です。著者の生き方に勇気を与えられるでしょう。

負の数どうしをかけると何で正の数になるの

コレがオススメ!



イースト・プレス



小山 哲也先生
工学部 電気システム工学科

『生き抜くための数学入門』

新井紀子 著

なぜ数学を勉強するのかを、中学レベルの数学から始めて根底から考えている本です。分かりやすいが妥協したりごまかしたりはしていない。授業の数学が物足りなく思われるとき、またなぜ数学を勉強しなくてはならないかをきちんと納得したいとき、役に立つでしょう。

アルミ箔の作り方知っていますか?

コレがオススメ!



コロナ社



岡部 卓治先生
工学部 機械システム工学科

『もの作り不思議百科』

—注射針からアルミ箔まで— JSTP編

私たちが日常使っている製品はどうやって作られているのか、疑問に思うことはありませんか?本書は加工法のユニークな題材が取り上げられており、話し言葉で分かりやすくまとめられています。将来、ものづくりに携わる技術者を目指す人に、何らかのヒントを与えてくれる良書です。

あなたの、“座右の銘”にして欲しい

コレがオススメ!



明治書院



内田 和博先生
工学部 知能機械工学科

『親子で楽しむ ことば論語塾』

安岡定子 著

中国の大思想家、孔子の残した「論語」を分かりやすく解説しています。2500年前の言行ですが今の時代にも通じる考えです。何かに迷った時、自分自身を元気づけたい時、「論語」に触れ、意味を理解し、自分の行動につなげてください。大学で学ぶ心構えにもなりますよ。

言葉の芸術の極致

コレがオススメ!



筑摩書房



堀部 秀雄先生
工学部 都市デザイン工学科

『ちくま日本文学 内田百閒』

内田百閒 著

私の好きな作家・内田百閒は超一流の文章家です。数ページの短編がほとんどで読みやすく、どれも一読かつて経験したことのないような、それでいてどこか懐かしい不思議な世界へ誘い込まれます。たまにはこのような名文をじっくり味わってください。そして、異界への短い旅を楽しんでください。

携帯ゲームや音楽を聴くかわりに

コレがオススメ!



廣済堂出版



細川 伸也先生
工学部 建築工学科

『赤い雲伝説殺人事件』

内田康夫 著

シリーズで出版されている本ですが、単純な推理小説ではなく、社会問題(本書では原発誘致問題)をバランス良く取り入れてあります。日本語表現も工夫されており、文章を読む力をつけるのにも向いています。本を読むことを、話題づくりや、知識を広げるきっかけにしてください。

人生、まわり道をしよう

コレがオススメ!



中川 徹先生
情報学部 情報工学科

『哲学は人生の役に立つのか』

木田元 著

人生でも学問でも迷い、悩むことは非常に大切です。なかなか答えがみつからず苦しむこともあるけれど、まわり道のなかで学び得ることがあるはず。様々なことに悩み、迷っている人にぜひ読んでほしい。まわり道をしてきた哲学者の知恵が、人生のヒントになるかもしれません。

ドラッカーの『マネジメント』入門書

コレがオススメ!



南野 猛先生
情報学部 知的情報システム学科

『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』

岩崎夏海 著

社会に出ると「組織としての成果」を期待されます。それに応えるための考え方、行動の起こし方を解説するドラッカーの「マネジメント」。初心者には難しい理論を、小説で分かりやすく書いています。経営工学やプロジェクトマネジメントに興味がある人、経営者を目指す人に読んでほしい。

社会に流されない信念

コレがオススメ!



杉田 洋先生
環境学部 環境デザイン学科

『日本でいちばん大切にしたい会社』

坂本光司 著

社会が悪い、景気が悪い。何事も人せいにするのは簡単です。この本に紹介されている企業の共通点は、「常に前を向いている」ところです。信念を持ち前向きでなければ活路は見出せません。この本には、これから君たちが働く上で「いちばん大切なこと」が書かれています。

何度でも読みたい本

コレがオススメ!



松島 治先生
環境学部 地球環境学科

『老人と海』 E. ヘミングウェイ 著

中学生くらいから何回も読んでいた作品です。短編でシンプルな物語ですが、その中に人間が持つべき尊厳、誇りなどが描かれています。一体自分は何なんだろう?と気持ちがフワフワして心許ないとき、何が大切なのか、読後に心に残るものが出てくるのであります。

多方面からものを見ることが大切

コレがオススメ!



小川 英邦先生
生命学部 生体医工学科

『ライト、ついてますか』

ドナルド・C・ゴース他 著

社会人の基礎知識として、問題発見解決力を求められる場面は多くありますが、工大生には理系的な発想が多く見られます。理系の問題解決は、劇的な改善をしますがコストがかかるため好まれません。そこで、この本を読んで様々な問題解決法があることを理解してほしいですね。

記事を図にすると見えること

コレがオススメ!



角川 幸治先生
生命学部 食品生命科学科

『記事トレ! 日経新聞で鍛えるビジュアル思考力』

板橋悟 著

就活の際に、「日経新聞を読め」とよく言われますが、記事の解釈の仕方、整理の仕方が分かっていない人も多いのでは?本書は、日経新聞の記事を元にして、ビジネスモデルの解析方法について分かりやすく解説しています。良く分からないまま新聞を読んでいるという人にお勧めです。

JCD編

もう1つの夏休みを味わってほしい

コレがオススメ!



福田 恵里子さん
地球環境学科

『向日葵の咲かない夏』 道尾秀介 著

日常的生活空間の中にある異様な世界がおもしろいミステリー作品です。数々の謎があり、読み進めていくうちに疑問が広がり、本当に最後の最後まで真実がわからないので、次々と読みたくなること間違いなし!みなさんも、もう1つの夏休みを味わってみませんか?

元気をもらえる本です!

コレがオススメ!



齋藤 由貴さん
建築工学科

『気持ちの整理 不思議なくらい前向きになる94のヒント』

齋藤茂太 著

大学生生活が始まるなど、周りの環境が新しくなる人に読んでほしい本です。今までと違った生活になり、勉強や人間関係、将来の事(就職)などで悩んだり、気持ちが辛くなった時に読むと不思議なくらい元気になりました。また明日から頑張ろうと思える本です!

硬くない人間動物行動学

コレがオススメ!



近江 佳映さん
健康情報学科

『先生、シマリスがヘビの頭をかじっています!』

『鳥取環境大学』の森の人間動物行動学 小林朋道 著

大学内の動物たちが巻き起こす珍事件と人間動物行動学がリンクしているので、硬くなく読みやすい本です。著者は大学の先生なので、ただのエピソードで終わらず深い部分もあり、様々な発見があります。身の周りの生き物や自然などに興味のある人にオススメです。